



開国交渉に関わった漂流者たち 特別展「黒船がつれてきた漂流者」

 9月22日(木)～11月13日(日)

江戸時代、光太夫たちのような漂流者を日本に送り届けるという名目で多くの外国船が日本へ開国交渉にやってきました。その外国船と漂流者の意外な関わりを紹介する特別展「黒船がつれてきた漂流者」が大黒屋光太夫記念館で行われています。

黒船の絵画や外国人の肖像画など、珍しい資料を展示したこの特別展は、11月13日(日)まで開催されます。入場料は無料です(大黒屋光太夫記念館 若松中一丁目1番18号 ☎385-3797)。



錦秋の夜空を飾る大輪の花 池田町自治会の花火大会

 10月10日(月)



池田町で、同町自治会が錦秋花火大会を開催しました。打ち上げ花火など約600発が次々と夜空を飾り、町民会館やあぜ道で眺める多くの人たちは、音と光の共演を楽しみました。

市長と話そう! 鈴鹿づくりミーティングが 始動しました

 10月17日(月)

末松市長が市民と直接対話をする場として、「市長と話そう! 鈴鹿づくりミーティング」を開催しました。今年度は4回開催する予定で、その1回目として「(仮称)天名まちづくり協議会設立準備委員会」の皆さんと御蘭ふれあい会館で、天名地区の防災対策などについて活発な意見交換を行いました。



日本の元気な姿を世界に発信 ～2011鈴鹿F1日本グランプリ～

 10月7日(金)～9日(日)

晴天に恵まれ、昨年より9千人多い19万9千人の観戦客が、鈴鹿サーキットを訪れました。

今年は、震災から復興に向けて歩む日本の姿を、世界に向けて鈴鹿から発信する、例年以上に重要なイベントとなりました。

鈴鹿F1協議会では、BOXKARTグランプリ

や地元前夜祭などで、全国からのお客さんをお迎えし、心からのおもてなしを行いました。

レースは、小林可夢偉選手の予選の健闘ぶりと、ベッテル選手のワールドチャンピオン決定で盛り上がり、心に残る3日間を締めくくりました。



可夢偉選手来庁を多くのファンが歓迎 (9月29日)



墨のF1・垂井ひろしさん



地元前夜祭・中村好江さん



BOXKART グランプリ



宮城県石巻市からご招待した15組の親子の皆さんの笑顔



ようこそ鈴鹿へ



鈴鹿ブランドの紹介

